



災害対策用機械について

その8 開発建設部

災害対策本部車
台風・集中豪雨・地震等による河川・道路の被災現場に速やかに出動し、情報収集、応急対策の指揮や工法の検討、広報活動を行う現地対策の情報本部を構成します。

特徴として、走行時は小型トラック

(4t)サイズで普通免許で運転可能、リアボディを拡幅して居住空間を増やすことができます。

無線設備を備え、衛星放送・テレビの受信ができ、現地での情報収集・連絡が行なえます。

長期の現地対策にも対応できるよう、冷暖房設備、厨房設備、簡易ベッド設備、シャワー、乾燥式トイレ、発電機を備えています。

管内において台風や地震、集中豪雨等により、災害が発生した場合、現地での情報収集・情報提供活動及び応急復旧作業が迅速かつ適切に行えるよう、災害対策用機械や点検用機械を整備しています。また、これらの機械については、災害時、平常時にも、地方自治体等にも貸し出せりゆうじゆしてあります。

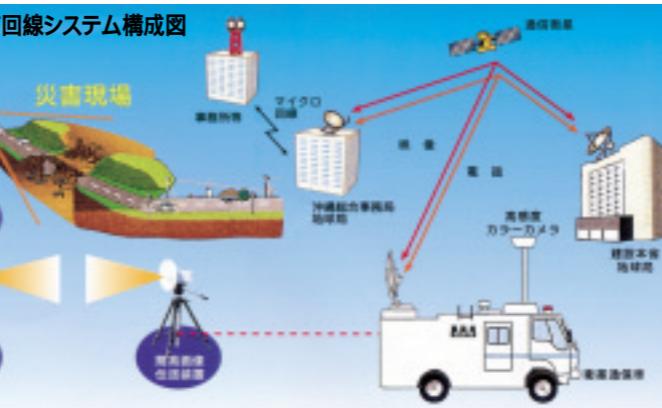
災害対策用機械保有状況

建設機械名	規格	台数
災害対策本部車	拡幅型	1
衛星通信車	衛星通信移動局	1
照明車	25KVA	2
応急組立橋	L=30m, W=6m L=50m, W=7.5m	2
情報収集車	無線装置付250ccバイク	2
橋梁点検車	歩廊式	1
標識車	LED式	2



災害対策本部車

衛星通信車
衛星通信移動局として、デジタル映像機器を使用して災害現場の映



像を衛星を介し送り込むことができます。また、車両が入らないところは、簡易画像伝送装置で映像を送ることができます。

また、臨時の電話アクセス回線を設営することができます。

照明車

被災現場の夜間の情報収集、応急復旧作業を安全に管理するために、単独、あるいは災害対策本部車、衛星通信車と組み合わせて使用します。また、照明灯部分に、カメラを備えています。北部国道事務所の照明車は、後部に操作室を備え、室内でドライブレコーダーを見ながら待機することができます。KWの照明灯四灯を備え災害復旧、情報収集の活動に十分な明るさを備えています。

照明車

災害時に、緊急時における災害対

を行います。
LED式の大型表示板で、回転灯とともに昇降し、高い位置で遠くから視認性を高めています。

災害対策用機械の出動について
災害時に、緊急時における災害対

策用機械出動の流れのとおり、災害対策本部長に要請し、出動命令を出します。防災訓練、広報活動等の平常時に、おこでは、各配置事務所長の協議により、使用します。

照明車

災害時に、緊急時における災害対

橋梁点検車
橋梁の側面や裏面を安全で簡単

に素早く点検でき橋梁の異常、損傷を早期に発見することができます。特徴として、トラックに架装されていて、迅速に移動し、一車線分で作業することができます。歩廊式作業床を自由に歩くことで、任意の位置から点検・作業

ができます。工事中及び災害時に安全に交通規制を行つたために、後部の表示板により、歩行者や住民及び車両に告知作業床は昇降、伸縮、旋回が自由にできます。でき車両を移動させながらの点検もできます。

橋梁点検車

橋梁点検車

橋梁点検車
橋梁点検車

橋梁点検車

情報収集車
災害時、四輪自動車が通行困難な時に、現場からの情報収集と災害本部への連絡を行うため、自動車より機動性の高い二輪車を導入しています。

応急組立橋
応急組立橋

応急組立橋

災害時、橋の流失、落橋、土砂崩れ等の道路寸断時に、応急的に仮橋を架けて交通を確保します。

B 活荷重対応、主構はアーチ接合式
支間は十八mから四十mまで使用可能で、手延工法、クレーンでの架設ができます。また、二十㍍対応もあります。

橋梁点検車
橋梁点検車

橋梁点検車
橋梁点検車

橋梁点検車

緊急時における災害対策用機械出動の流れ

